

職能要件書 職能評価項目

職種	保育士
専門部署	保育園

完全にできている	0	←半角数字の「0」(ゼロ)を入力
まだ不十分	*	←半角の「*」(アスタリスク)を入力

★○が90%以上あれば、この等級は完全クリアーしている。

部署	
氏名	
現状把握時の等級	
仮格付け時の等級 (給与レベルにあった 当初の等級)	
第1回評価時の等級	
第2回評価時の等級	

【入力手順】

- 今年度の等級を左枠で確認し、該当等級までの項目を全てチェックして下さい
(該当しない項目はその行を削除してください)
- 「等級」は「独力対応等級」の欄に記載してあります
- 「0」又は「*」を入力 (○×は入力が大変な為、この記号を使用します)
※次年度は「*」の付いている項目のみチェック。但し、等級が上がる方は、上の等級もチェックが必要です

単位業務 (大まかな区分)	作業名	作業内容 (～して～ができる)	独力 対応 等級	現状レベ ル把握の 為の評価	第1回 評価 ()	第2回 評価 ()
日常生活の援助	行事への援助	1 行事を、保護者に保育の成果を披露する為だけの目的とせず、子供が主体的に取り組んだ活動を行事として展開できる	2			
入園の受付と対応	一般園児の受入れ	1 園を案内し保護者に好印象を与える説明PRができる。	2			
指導計画	デイリープログラムの作成②	1 3歳未満時等の年齢が低いほど、月齢差や家庭での過ごし方を考慮し、必要な場合は個人別のデイリープログラムを作成する事ができる	2			
	月の指導計画の作成	1 年の指導計画、期の指導計画に沿って、その時期の幼児の状況を照らし合わせて、月毎の具体的な実施項目まで検討した計画が作成できる	2			
虐待への対応	虐待の早期発見	1 幼児を良く観察し、虐待の早期発見を行う事ができる	2			
乳児保育	乳児個人別の対応	1 心身の未熟性が強いので、乳児の心身の状態に応じた保育が行えるようにきめ細かな配慮ができる	2			
	保健的な対応(予防接種、疾病等)	1 1人1人の発育、発達状態、健康状態の適切な判断に基づく保健的な対応ができる	2			
障害のある乳幼児の対応	障害のある乳幼児の対応	1 統合保育の考え方の中で、健常乳幼児と障害乳幼児と一緒に生活できるよう配慮と工夫し、共に遊ぶ楽しさを味わえる援助をする事ができる	2			
	障害のある乳幼児の保護者への対応	1 保護者を支えていく姿勢で、心を開いて保護者を受け入れ、悩みや不安に耳を傾け、保護者との信頼関係をつくる事ができる	2			
子育て支援	一時保育の対応	1 1人1人の子供の心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育する事ができる	2			
		2 通常保育との必要な関連性を配慮しつつ、柔軟な保育を行う事ができる	2			
	親子の集い(水曜日)・園内開放(木曜日)の担当	1 週2回の育児情報提供の場として、安全で楽しく遊べる母親の仲間づくりを担当者として運営できる	2			
園の年間行事の起案書作成	担当部門の起案書の作成	1 園の年間計画に基づいて、担当の行事やレク等の起案書作成して提出、許可を得ることが出来る	2			
重要行事の企画立案	運動会・入卒園・発表会・クリスマス会・遠足等の実行計画作成	1 各行事の担当が、各行事の前に具体的な実行プランを作成し、説明する事ができる	2			
保護者の方の保育園の関わりや交流	保護者通信(おたより及び臨時の案内)の作成	1 行事の前に保護者へ「ご案内」を作成する事ができる	2			
緊急時の対応	事故、けがの対応	1 保育園で起きた事故・けがに対して、責任を持って対応する事ができる	2			
2等級職員の等級判定(○の個数)・3年～5年の中堅クラス			個数	0	0	0
2等級職員の○取得率			16	0%	0%	0%